

外食トレンド通信



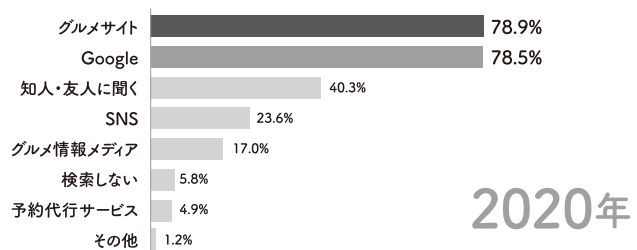
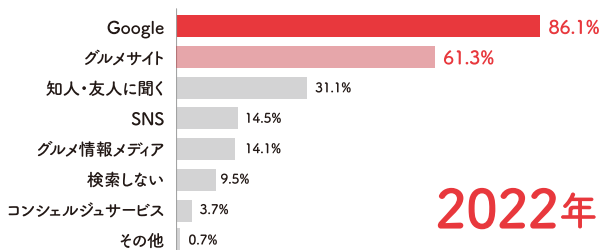
Google利用ニーズの高まりについて

政府は、国内入国時の検査や1日あたりの入国者数の上限が原則撤廃する方針を示すなど、年末に向けて、徐々に日常が取り戻されつつあります。一方で、7割経済という言葉に示されるように、人々の消費行動や働き方の変化により、経済規模は、

コロナ前の7割程度まで縮小を余儀なくされています。そのような中、現在消費者のニーズも高まっているGoogle対策について改めてポイントをまとめさせて頂きましたので少しでも参考になりましたら幸いです。

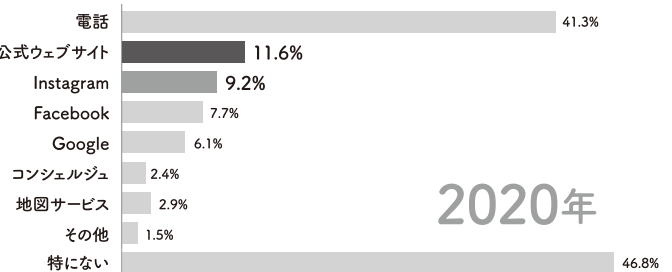
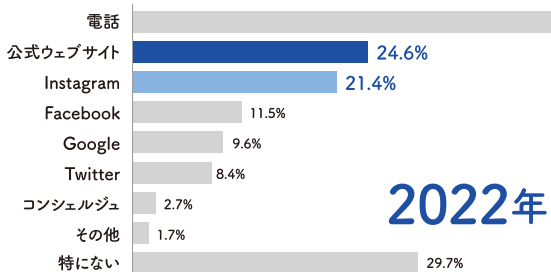
ググルメサイト信頼しない層、2年で1.2倍に。利用率も大幅減で、Googleが初めてトップに

●飲食店を検索する際、よく利用する手段をすべてお選びください (n=1100)



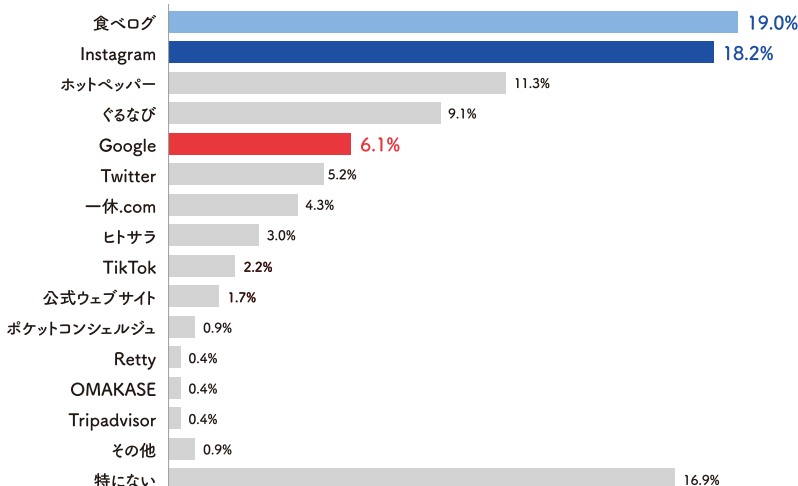
予約受付ツールは、公式ウェブサイトとInstagramが大きく伸長

●現在グルメサイト以外で利用している予約受付ツールをすべてお選びください (n=407)



主戦場は「インスタ」へ、飲食店の集客マーケティング。ユーザー利用高まる「Google」活用に課題

●集客マーケティングのために、今最も積極的に活用に取り組んでいるツールを1つお選びください (n=231)



CHECK!

ポイント

活用の積極度を問うた設問では、グルメサイトを凌ぐ勢いを見せたのが「Instagram」だった。

一方、Googleの活用が進んでおらず、積極的に活用しているツールとしてGoogleと回答したのはわずか6.1%でGoogle利用が急速に広まっていたユーザーとは対照的な結果に。ユーザー利用が急速に進んでいるGoogleをマーケティングツールとして活用していける余地はまだ大きい。

Googleビジネスプロフィール(旧Googleマイビジネス)運用のポイント

活用法ポイント

- 正しく情報を充実させましょう。頻繁にグーグルマイビジネスは進化します。こまめなチェックをしましょう。
- 投稿の頻度がSEO順位を上げる上で非常に重要になります。最低週1回は投稿をしましょう。
- 投稿にはハッシュタグをつけて、お客様の検索ワードに引っかかるような内容を投稿しましょう。
- メニューの登録を行い、お客様に何がいくらで食べられるかを訴求しましょう
- クチコミはこまめに返信しましょう。過去のコメントもさかのぼり、すべてのコメントに返信しましょう。
- お客様が魅力的に感じる写真投稿を定期的に行いましょう。

継続的に更新することが上位表示のポイントです

編集できる主な情報

ビジネス名

実際のお店やサービス、看板・商品など
ブランド表記通りに、正確に入力。

属性

顧客にもっと知ってもらうため(Wi-Fiあり、テラス席あり等)
事実に関する情報は編集できるが
人気があるなどの主観的な属性は利用者によって決まる。

カテゴリ

ビジネスの説明として最も最適なカテゴリを指定。
最初の欄に入力されたカテゴリがメインとなる。
カテゴリは9つまで選択可能。

写真

ビジネス情報

店舗について簡単な説明を入力。
(例)「完璧な生」の提供品質に徹底的にこだわった「サッポロ生ビール黒ラベル THEBAR」が銀座にオープン。「最もビールがおいしい瞬間はその日の1杯目。」というコンセプトのもと、ご来店いただいたお客様がその日の1杯目を「完璧な生」でスタートしていただくことに徹底的にこだわった通年型ビヤバー。注ぎ方が異なる3つの黒ラベルをご提供しています。完璧を目指す黒ラベルの新たな取り組みをご体感ください。

住所

正確な住所を入力

開業日

店舗を開業した日付を入力

営業時間

顧客に対応可能な通常の営業時間を入力。
祝祭日や特別イベントなど営業時間が異なる日は
特別営業時間を設定。

電話

ビジネスメインの電話番号に加えて
2つまで電話番号登録可能。
(携帯電話・固定電話、FAXはNG)

メニューやサービス

価格と共に一覧表示できる

TOPICS

Googleビジネスプロフィール、投稿や写真の繰り返し投稿(複製)が禁止に

Googleビジネスプロフィールのコンテンツポリシーに追加がありました。投稿や写真、動画、ロゴの「複製(同じ内容を複数回投稿すること)」がスパムとして判定されることが明言されています。

もしGoogleビジネスプロフィールの投稿が拒否された場合、(さまざまな可能性が考えられるため一概には言えません)原因の一つとしてコンテンツの重複を疑ってみてもいいかもしれません。

出典:ロコミラボ「Googleビジネスプロフィール・口コミ対策の最新情報がわかる! MEO・口コミマークまとめ【2022年8月版】」より

ニーズが高まるGoogleビジネスプロフィールへの注力がWEB販促のポイントになるかもしれません